

リンゴ病害虫の発生状況（7月中下旬） 調査地点：中通り 22 園地、会津 12 園地

令和3年8月17日
福島県病害虫防除所

(1) 斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年並でした（図1）。今後の天候に注意しながら、定期防除を実施しましょう。

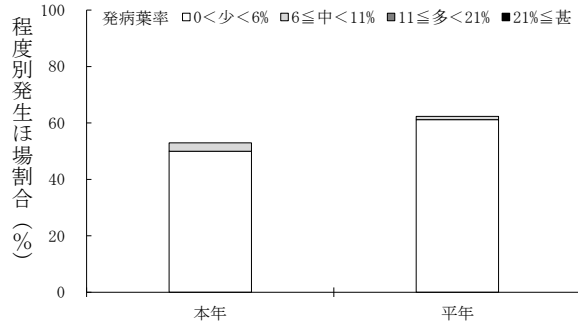


図1 斑点落葉病の発生状況

(2) 褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年よりやや高く（図2）、過去10年間のうち最も高かった年（2020年）に次いで高い状況でした（図3）。現在、本病の二次感染期のため、天候に注意しながら、散布間隔があきすぎないように薬剤散布を実施し、感染拡大を防止しましょう。

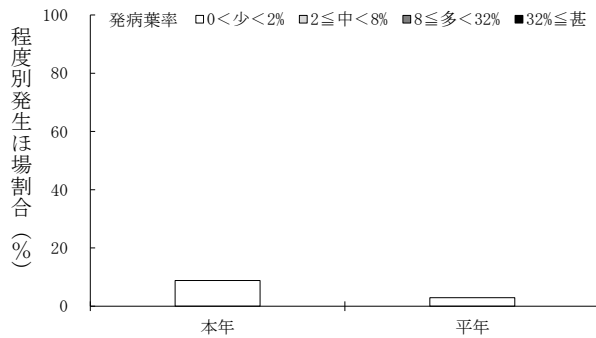


図2 褐斑病の発生状況

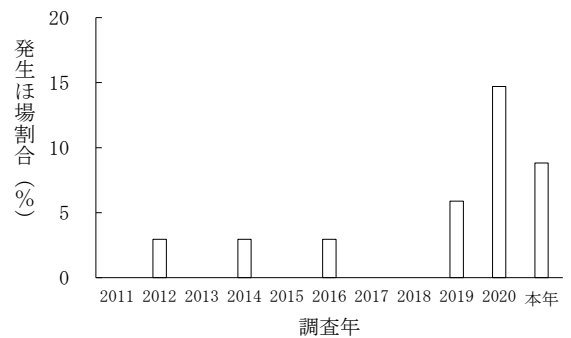


図3 発生状況の推移

(3) 黒星病

新梢葉での発生ほ場割合は、中通りでは平年並でしたが、会津では平年よりやや高く、果実でも発生が見られました（図4）。罹病部位は伝染源になるため除去し、園外に持ち出して適切に処分しましょう。薬剤散布は散布間隔をあけずに散布ムラがないように丁寧に実施しましょう。

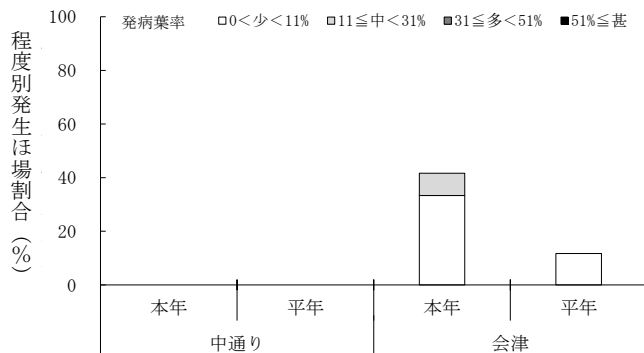


図4 黒星病の発生状況

(4) キンモンホソガ

新梢葉での発生ほ場割合は、平年並でした（図5）。

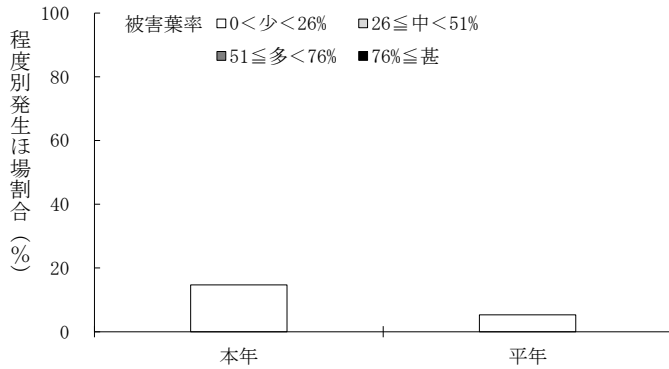


図5 新梢葉被害の発生状況

(5) ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、平年よりやや高く、一部の園地では寄生程度が高い状況でした（図6）。園地での発生状況をよく観察し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達した場合は、薬剤散布を実施しましょう。

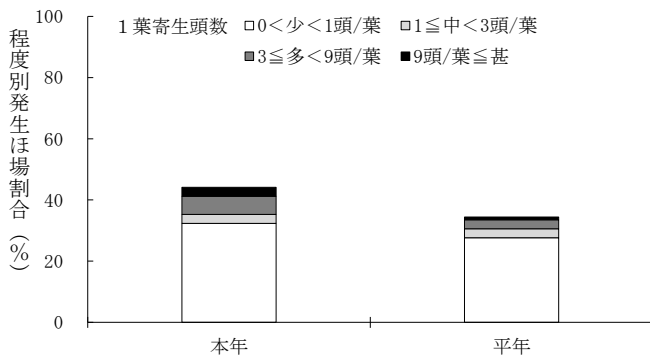


図6 新梢葉での寄生状況

(6) 果樹カメムシ類

果実被害の発生ほ場割合は、平年並でした（図7）。

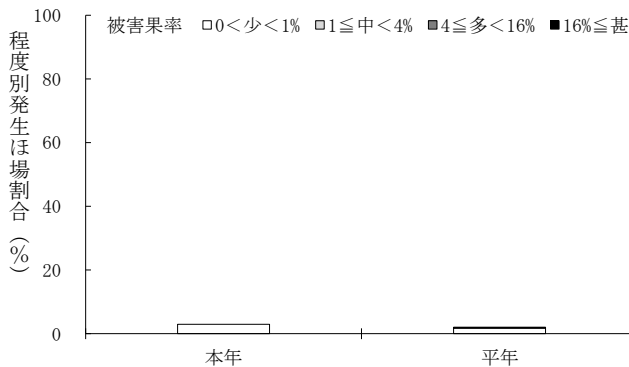


図7 果実被害の発生状況